



負担の少ない「便潜血反応」検査

山口大学・山口県立大学名誉教授 江里 健輔 先生

令和6年9月17日、厚生労働省は全国の100歳以上の高齢者が15日時点で9万5,119人と発表しました。前年より2,980人増え54年連続で過去最多を更新し、女性が8万3,958人、男性1万1,161人でした。

平均寿命延伸の最大の原因は①医療技術の進歩による疾患の早期発見・早期治療が可能になったこと、②国民皆保険の整備、③食生活の向上、④生活環境の整備などです。2000年6月、ガン対策基本法が「全国どこでも質の高いガン治療が受けられ、安心して暮らせる環境づくり」のために制定されましたが、早期発見の最大手法である検診受診率は満足する状態に至っていません。国が検診を推奨する五つのガンの罹患率は、2020年では大腸15.6% (147,725人) が最も多く、次いで、肺ガン12.8%、胃ガン11.6%の順でした。

大便中に含まれる微量の血液を検出する「便潜血反応」検査が大腸ガン検診に用いられるようになり、早期発見・早期治療が著しく向上しました。ヒト・ヘモグロビンを検出する免疫学的方法是検査前に何らの食事制限を必要とせず、下部消化管からの出血を特異的に検出するので、被験者への負担は極めて軽微なため、検診が受けやすくなります。便潜血2回法で大腸ガンが見つかる確率は、進行ガンの約80～90%、早期ガンの約50%とされていますが、残念ながら、進行ガン(付図1)の10～20%、早期ガン(付図2)の50%は見落される可能性があります(wada.clinic>blood-test引用)。

従って、「便潜血反応」が陰性でも、便秘や下痢、腹痛や便が細いような症状があれば、再検査、あるいは、大腸内視鏡検査を受けることです。

アメリカでは予防医学の観点から、45～75歳の国民に対し、無料または安価で年に一度の「便潜血反応」検査を、10年に一度は大腸内視鏡検査を受けるようにしたところ、罹患率が減少したと報告されています。

日本では、「便潜血反応」検査の対象者は40歳以上で、年1回検査を勧めています。この根拠はガンが早期である1cmの大きさになるには10～15年くらいかかりますが、1cmから2cmの大きさになるには1～2年と短いからです。進行すると、ガンが切除されても、術後、抗癌療法が必要で、患者さんの身体的、精神的負担が増えるだけでなく、経済的負担も増えてきます。

35歳以上の被保険者を対象とする生活習慣病予防健診にはこの「便潜血反応」検査も含まれています。

ガンを早期に発見できるチャンスであるにも関わらず、健診を受けないのは「賢くない」証拠です。

積極的に受けられることをお勧めします。



(付図1)
進行大腸ガン



(付図2)
早期S状結腸ガン

全国健康保険協会 山口支部
協会けんぽ

協会けんぽ 山口支部

検索

〒754-8522
山口市小郡下郷312番地2 山本ビル第3
TEL: 083-974-0530 (代表)
受付: 平日8:30～17:15

職場内での掲示・回覧にご活用ください。

協会けんぽ NEWS やまぐち

令和7年1月号



新年あけましておめでとうございます

昨年中は協会事業へのご理解、ご協力いただきありがとうございました。今年強い生命力を持つ干支のへびにあやかり、「健康づくり」を通じて、皆さまの更なるご発展を祈念しております。

事業主さまへ

貴社の従業員の皆さまの心身の健康づくりを一步進めましょう
定期健康診断結果をご提供ください



協会けんぽ山口支部では、労働安全衛生法による定期健康診断(事業者健診)を受けた加入者の皆さまの健康診断結果の提供をお願いしています。
ただし、生活習慣病予防健診を利用された方は手続き不要です。

ご提出の流れや詳細についてはこちらからご確認ください ▶▶▶



協会けんぽ
山口支部HP

定期健康診断(事業者健診)の結果を提供いただくことで、事業主及び加入者の皆さまが受けられる主なメリットは次のとおりです。

メリット
1



40歳以上の生活習慣病のリスクがある方は**保健師・管理栄養士**による健康サポート(特定保健指導)が無料で受けられます!

メリット
2



マイナポータルから健診結果を確認できます!(最大5年間分)

メリット
3



マイナ保険証で医療機関を受診する際に本人の同意のもと**医療機関が健診情報を医療に活用できます!**

放置はダメ!

健診結果で「**要治療**」「**要精密検査**」と判定された方は
速やかに医療機関を受診しましょう

詳細はこちら



健診結果の項目で**血圧**、**血糖値**、**LDLコレステロール値**において、**要治療**・**要精密検査**と判定されているにも関わらず、そのままにいませんか?

「**高血圧**」、「**高血糖**」、「**脂質異常**」を放置すると・・・



高血圧、高血糖、脂質異常などの生活習慣病は自覚症状がないまま進行し、治療せずに放置をすると、命に関わる様々な病気の発症リスクが高くなります。

資格情報のお知らせと加入者情報（マイナンバーの下4桁）の配付をお願いします。

令和6年12月2日からの健康保険証を利用登録したマイナンバーカードで医療機関等を受診していただくことを基本とする仕組みへの移行に伴い、令和6年9月に「資格情報のお知らせ及び加入者情報（マイナンバーの下4桁）」を送付しました。

従業員様への配付にご協力いただき、ありがとうございました。

その際にお知らせしておりました直近に加入された方の「資格情報のお知らせ及び加入者情報（マイナンバーの下4桁）」を令和7年1月から順次送付いたしますので、お手数をおかけしますが、従業員様への配付にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【対象者】

令和6年6月10日から令和6年11月29日までに日本年金機構において新規に資格取得（扶養認定）の決定をされた加入者のうち、令和6年12月6日時点で健康保険に加入されている方

詳しくはこちら
（協会けんぽHP）



仕事上の負傷や他者から加害を受けたときは健康保険が使用できません

① 業務上（工作中または通勤中）の負傷の場合

工作中または通勤中の負傷の場合、原則労災保険の適用となり、**健康保険は使えません**。労災保険の手続きについては、労働基準監督署へご相談ください。



② 第三者の行為（交通事故やケンカなど）による負傷の場合

交通事故やケンカなど「第三者の行為」による負傷の場合、『**第三者行為による傷病届**』の提出が必要です。この場合、加害者が支払うべき治療費を健康保険が立て替えて支払うことになります。『第三者行為による傷病届』は、協会けんぽが加害者に対して立て替えた治療費の請求を行うための書類です。

『第三者行為による傷病届』について
詳しくはこちら



PICK UP

健康保険を使用して負傷（けが）で医療機関を受診された場合、被保険者の方へ負傷原因の照会文書を送付する場合があります。

この照会は負傷（けが）の原因が ①「業務上のものではないか」②「第三者によるものではないか」を確認するために行っています。皆さまからお預かりしている保険料を適正に使うための重要な照会です。

ぜひ役職員の皆さまにご周知のほどよろしくお願いいたします。



【上手な医療のかかり方】「かかりつけ医」をもちましょう！

かかりつけ医は健康に関することをなんでも相談できるお医者さん

かかりつけ医は、健康に関するあらゆる相談に応じ、必要に応じて専門医も紹介してくれる頼れる存在です。かかりつけ医を持つことで、日々の健康管理から治療まで安心してサポートを受けられます。



1. かかりつけ医を持つことのメリット

日頃の健康状態を把握してもらえる

症状に応じた専門医へのスムーズな紹介

病気の予防や早期発見にもつながる

生活習慣病の予防や健康相談、症状や気になる体調の変化などをお話ください

2. かかりつけ医を選ぶポイント

自分が信頼できるといった医師をかかりつけ医と呼んで構いません。
まず健康相談ができる医師をかかりつけ医としましょう。

1 相談しやすい
信頼関係を築くために、相談しやすい医師を選ぶことが重要です。

2 わかりやすい
医師の説明がわかりやすく、自分にとって理解しやすいかがポイント。

3 通いやすい
自宅や職場から通いやすい医師をかかりつけ医にするのも安心です。

3. かかりつけ医の見つけ方

健康診断や予防接種などの機会に身近な医療機関に行くことが「かかりつけ医」を見つけるきっかけにもなります。

健診・検診・健康診断をきっかけとして

予防接種をきっかけとして

家族の受診をきっかけとして



かかりつけ医について詳しくはこちら
厚生労働省HP
「上手な医療のかかり方.jp」



Check! 「医療情報ネット（ナビイ）」～身近な医療機関を検索！～

医療情報ネット(ナビイ)とは？

診療日や診療科目といった一般的な情報に加え、対応可能な疾患・治療内容、提供しているサービスなど様々な情報から、全国の医療機関を検索することができるシステムです。

キーワード

場所

診療科目

などから簡単に医療機関を検索できますのでぜひご活用ください。

医療情報ネットについて詳しくはこちら
厚生労働省HP
「医療情報ネット（ナビイ）」

